

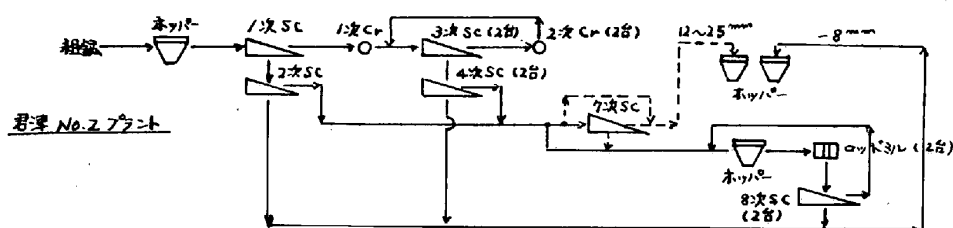
(51) 鉍石処理設備及びその作業について

濱田重工 本社 楠野桂三 ○嶋田正利 君津支店 斎藤慶久

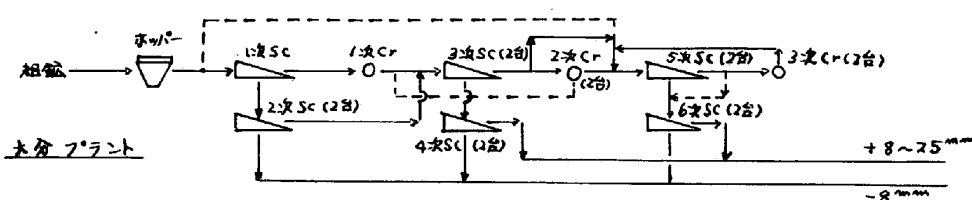
1 緒言 昭和43年10月 新日鐵君津製鐵所の鉍石処理設備は自社設備の設計製作据付を行いその運転整備清掃を一元的に実施し、優秀なる成績をあげています。又、君津第二プラントも昭和46年5月20日完成し、好成績にて稼働して居ます。又、大分製鐵所の鉍石処理設備も本年9月末には完成の予定であります。昭和44年11月よりは堺製鐵所の鉍石処理プラントを、昭和45年12月よりは八幡製鐵所戸畑の鉍石プラントの作業を引継ぎ実施し、良好な成績をあげておりますので、その概要と特徴を報告します。

2 君津及び大分製鐵所の鉍石処理のフローシート及び特徴

1. フローシート



能力
粗鉍 250 ㏄
全量破砕 180 ㏄



能力
BF.1基時 360 ㏄
BF.2基時 720 ㏄
整粒鉍 1000 ㏄
() 台数はBF2基時を示す。

2. 特徴 (1)整粒鉍中-5mmが少ない (2)落鉍の少ないこと (3)落鉍処理の機械化
(4)整備補修の容易 (5)防塵設備の完全実施 (6)篩分粉の粒度分布を調整可能(君津, 堺)

3 君津, 堺, 八幡(戸畑)各設備の作業成績の一例 S46年5月分

製鐵所名	処理量	能力 t/H	実績 t/H			合計 t/月	(当社引継前)				(当社引継後)	
			粗鉍	整粒鉍	ペレット		-5mm %	t/月	%	t/月	%	
君津 No. 1	粗 20万 t/月	粗 450	446	563	(407)	28 万t	0.7	-	-	500	0.18	
堺	粗 15万 "	粗 350	330	-	-	16.1万t	0.7	1500	1.0	183	0.11	
八幡(戸畑)	粗 30万 "	粗 700	590	680	-	35.7万t	0.7	6900	1.8	3500	0.98	

4. 結言 本処理設備は作業成績例からも明らかなように、整粒鉍中の-5mm、落鉍量が少なく十分初期の目的を達成し、コストの低減、品質の安定に顕著な効果をあげることができた。また、作業面では万能工システムを採用することにより、運転、整備、清掃を一元化し、作業能率の向上が達成できた。今後はさらに鉍石処理設備の改善に努め、特に焼結原料の粒度分布調整の要求に応じたい。